

## 森りようじ リポート。(81号)

～ 皆さんと一緒に、森も動く。～

森  
森  
森  
り  
り  
り  
よ  
よ  
よ  
う  
う  
う  
じ森  
が  
動  
く。

流山市議会議員

## 討議資料

私事になりますが、6月12日に40歳になりました。中国の孔子は論語で『15歳で学問に志し、30歳になって独立した立場を持ち、“40歳”になってあれこれと迷わず、50歳になって天命をわきまえ…』と説きました。これからは迷うことなく、前を見て動く40歳にしたいと思っています！

## ■“森が動く①”…地域を守る(消防団入団)

消防団(13分団)に入団しました。地域には皆様の暮らしを守るために常設型の消防署と非常備型で“後方支援”を名目とする消防団組織があります。消防団は法律により定員が定められています(流山市は355名)が、近年は成り手不足から多くの地域で欠員(平成28年1月時点で48名)状態となっています。地域・自治会活動に関わると一度は耳にしたことがある消防団、私もこの問題を同世代の仲間と話し合ってきた結果、一緒に入団し、自らの地域は自分たちで守ろうとの結論に至りました。関心のある方は私か流山市までお問合せ下さい！

## ■“森が動く②”…地域を盛り上げる(男衆)

自治会内で同世代の仲間(10名超)とサークル(男衆)を作り、地域を盛り上げる取り組みを続けています。近年の自治会組織は高齢化や加入率低下が指摘されており、市議会でも大きな議題となっています。まずは“自らの地域から実践を”との思いで、1年間、仲間作りをしてきました。今後は地域のお祭りを引き継いだり、他の地域の若者と連携し、広域的な取り組みが出来る組織作りにも挑戦していきたいと語り合っています。自治会加入率が7割を切る中、若者達の挑戦にご期待下さい！

## ■各種ご案内

- ①次回の駅頭(82号の配布)は10月からになります。  
※盆休み・定例会の会期中は駅活動をお休みします。  
※日常活動はホームページ・SNSでご覧頂けます。
- ②会派『流政会』では8/3-5に行政視察に行きます。
- ③第3回定例会は9月2日(木)開会の予定です。

## ○1976年6月12日流山生まれ(40歳)

※サラリーマン家庭(父はNTTに勤務)で育つ  
流山市立新川小、流山市立北部中卒業  
日本大学第一高校、武蔵大学経済学部卒業

○2000年4月 大成建設株式会社に入社(管理部ほか)

○2003年4月 流山市議会議員に初当選(2,692票)

○2011年4月 流山市議会議員二期目当選(4,508票)

○2015年4月 流山市議会議員三期目当選(5,830票)

※政治理念はケネディ大統領の「国が何をしてくれるか  
ではなく、自分が国のために何ができるか」。

○後援会事務所:流山市中野久木559-2

討議資料

## 一般質問①

【新交通体系・2大事業の見通しは？】

流山市の成長を支える交通体系。その中でも、今後の当市発展の“要”になるとも言われているのが『つくばエクスプレス(以下 TX)の東京延伸事業』と千葉県(流山市)と埼玉県(越谷市)を結ぶ新橋『(仮称)三郷・流山橋建設事業』です。

### 東京駅延伸の可能性は？

本年4月に国土交通省の諮問機関である交通政策審議会が纏めた答申案に「TXの東京駅延伸計画」が盛り込まれました。ここ数年の間、近隣市と協力し要望活動を続けてきた当市にとって大きな成果と言えます。

一方、今回の答申内容をじっくり見てみると、文末には「期待」の文字が並び、国の責任でこの事業に取り組むとは謳っていません。また明確な時期や事業計画の表記も皆無であり、いわゆる「玉虫色の答申書」と言った評価の声も多くあります。

そのようなことから答申書に記載されたことを評価しつつも、今後の実現性や当市の行動計画について質

**資料①：都市交通網を、強化する。**  
◎常磐新線の延伸《秋葉原～東京(新東京)》  
【意義】国際競争力強化の拠点であるつくば国際戦略総合特区を含む常磐新線沿線と都心とのアクセス利便性の向上。  
つくば国際戦略総合特区と新幹線のターミナルである東京駅を直接結ぶことによる研究開発拠点と圏域外との対流促進を期待。  
【課題】高度に土地利用が進んだ都心の事業となるため、関係地方公共団体・鉄道事業者等において、導入空間にかかる事業費等を踏まえつつ事業計画の十分な検討が行われることを期待。東京駅における鉄道ネットワークとの乗換利便性を向上させるため、東京駅周辺の他路線との接続を考慮した駅の位置について、検討が行われることを期待。



しました。市長からは「東京駅延伸の実現に向けては、需要の予測や事業費の試算、延伸による便益の調査などを行い、費用対効果や費用分担について沿線自治体や鉄道事業者などと協議し、全体の合意がなされる必要があると考えている」とありました。実現に向けては今まで以上の努力が求められそうな気がしています。

### (仮称)三郷・流山橋建設の進捗は？

平成39年までの事業予定とされる新橋建設の進捗状況について質しました。現在は用地買収中で取得状況は48%とのことでした。

今後の課題としては既設埋設管(上下水道管・ガス管)の切り回しや環境関連用地(残地部分)の緑道整備の整理が必要とのことでした。

WebSite「森りょうじ」を検索！  
また Twitter・Facebook も更新中！

## 一般質問②

【地域活性化のために分権推進を！】

人口減少時代と言われる今日、一部地方都市では消滅危機が叫ばれています。過去の政権による政策を見ても特効薬はありません、地道な取り組みが必要です。

そのためには地方都市の創意工夫によるまちづくりを推進し、魅力のある地域社会を作り

上げ、定住人口の増加、雇用の創出などに繋げていくことが期待されています。ただし、そのようなまちづくりを行う際には、地方側に“国・県と同等の権限、財源、人材”が必要であることは言うまでもありません。

同時に、地方は国・県からの権限移譲を待つばかりでなく、自ら権限移譲を求める気概が必要と言えます。旅券発給(パスポート)、NPO設立認証等事務などの権限はまちづくりの活性化に繋がるものと感じており、引き続き当局の積極的な取り組みを求めました。旅券発給は今年から県内4市で始まることもあり当市もそれに続きたいとの意欲的な答弁でしたが、NPO事務に関しては行政コスト増などを理由に働きかける考えはないとの答弁でした。

## 一般質問③

【開発行為の課題と向き合う】

ある日突然、自宅周辺が開発されることになり、生活環境への悪影響が懸念される…このような心配を持った市民の方からの相談が増えています。そのため市は、開発業者に対して「土地利用計画」の内容について、事業を始める前に近隣住民へ説明することを条例で義務付けています。そして近隣住民から要望や意見があった時は、事業者は住民と協議を行い適切な措置を講じるよう努めることとしています。質問では改めて『行政は住民の要望や意見に誠実に対応するよう求める』見解を確認しました。

【連絡先】TEL & FAX: 7155-3236  
Mail: ryoji612@peach.ocn.ne.jp